

令和元年度第1回地域学校協働活動推進委員会 協議テーマ

【所管課：生涯学習課】

協議タイトル
体験・交流活動の充実に向け、地域住民を巻き込んだ持続可能な仕組みづくり
背景・趣旨等
<p>本県の新・放課後子ども総合プランにおいて放課後子ども教室及び放課後児童クラブは放課後の居場所づくりや体験活動の場として重要な役割を担っている。その中で活動内容に差があるといったところが課題としてあげられる。具体的には「支援員等の人材」や「体験・交流活動の充実」に差があることである。</p> <p>「支援員等の人材」については、県として防災対策や防犯対策、発達障害児受入等、年10回程度の研修を実施することで一定の質の確保を目指している。また、取組状況調査において、研修のテーマとして重要度の高いもの調べ、ニーズ応じた研修を計画している。</p> <p>「体験・交流活動」については、全市町村訪問時に実施状況や関係団体との連携状況について伺うとともに、地域資源の掘り起こしについて助言を行った。また、学び場人材バンクによる出前講座のマッチングや体験活動出前研修会の実施を行っている。</p> <p>現状として、「体験・交流活動」は放課後子ども教室及び放課後児童クラブ全体の8割弱の実施にとどまり、その内容、回数は実施箇所によって濃淡が見られる。</p> <p>そこで、第1回の推進委員会では、<u>体験・交流活動（自然体験活動、文化・芸術活動、地域住民との交流、モノ作り教室など）を充実させ、子どもたちの社会性、自主性、自己肯定感、コミュニケーションスキル等の豊かな人間性を育むとともに、地域社会の教育力の向上を目指し、地域住民を巻き込んだ持続可能な仕組みづくりを形成していくにはどうすればよいか、実施箇所の関係者（地域コーディネーター、放課後児童支援員）、行政関係者、家庭教育関係者、学校関係者のそれぞれの視点でご意見をいただきたい。</u></p>
関連する本県の基本情報等
<ul style="list-style-type: none"> ・ 体験活動の実施率 <ul style="list-style-type: none"> ※体験活動は「文化芸術活動」、「地域住民との交流活動」、「体験活動」のいずれかを実施 児童クラブ H30：81.5% (91.1%) → R1：81.6% (91.1%) 子ども教室 H30：73.3% (81.6%) → R1：76.7% (81.6%) ※（ ）内はうち高知市含む ・ 地域の社会教育施設等の活用状況及び情報提供の状況 <ul style="list-style-type: none"> ※別添資料参考（令和元年度取組状況調査より抜粋） ・ 学び場人材バンクによる支援員対象の体験活動出前研修会を年5回（5月、11月、2月）。